

《担当者名》 歯学部教授 / 川上 智史 歯学部教授 / 舞田 健夫
 歯科衛生士長 指導責任者 / 梶 美奈子

【概要】

大学病院は総合的な歯科臨床教育の実践の場である。専門科目別に個々に履修してきた基礎的、臨床的な知識・技能を総合的に結びつけ、歯科診療の流れを理解する必要がある。また、一般臨床における心構えや態度、器材の消毒や感染対策の実際まで、歯科衛生士としての業務全般を習得することを目的とする。

【学修目標】

歯科診療の流れを理解する。
 診療に必要な器具・器材の準備ができる。
 患者とのコミュニケーションをとることができる。
 歯科衛生士になるために必要な心構えや態度を習得する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	患者との接し方 歯科治療補助、介補 患者口腔衛生指導	臨床の場に立つ者の心構え、患者との接し方の基本を学ぶ。 セメント練和、印象材練和などの補助業務を中心に、一般歯科臨床の補助、介補法を学ぶ。 歯科保健指導、ブラッシング指導を中心とした、患者の教育と、歯周ポケット測定、スケーリングなど健康な口腔の維持に必要な基本的臨床手技を学ぶ。	川上 智史 舞田 健夫 梶 美奈子

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

実習態度30%、技術、能力40%、口頭試問30%

【学修の準備】

実習内容を理解した上で、毎回の実習に臨むこと。